

聴導犬&介助犬ユーザーによる聴覚&肢体障がい者の補助犬ニーズを満たす

全日本聴導犬・介助犬ユーザーの会

News Letter



29号

HP: <https://www.hearingdog.or.jp/index.php?f=hp&ci=10146&i=10182>

Email: inf@hearingdog.or.jp

Fax: 0265-85-5088 Tel: 0265-85-5290

〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村 7030-1 (福)日本聴導犬協会気付 「全日本聴導犬・介助犬ユーザーの会」

「全日本聴導犬・介助犬ユーザーの会新聞」

発行人: 岸本宗也

編集手伝い: 日本聴導犬協会
スタッフ

編集: 有馬もと、MAYUMI、
野崎幸菜

発行: 年2回

事務局: 〒399-4301

長野県上伊那郡宮田村 7030-1

(福)日本聴導犬協会気付

※無断転載・転用厳禁です

新しいユーザーの仲間が
増えていく嬉しさを

「全日本聴導犬・介助犬
ユーザーの会」会長
聴導犬みち君ユーザー

岸本 宗也

わが家の初代聴導犬「みかん」は優れた愛らしい子で、聴者の間にも理解者を多く得ました。二代目の「しん」君もそれを引き継ぎ、周囲の聴導犬への理解を伸ばしてくれました。三代目のみち君も賢い子で、私達夫婦は、良きパートナーを得て幸せです。ありがとうございます。

みち君は、料理の際、台所に置いたタイマーが鳴ると必ず妻にタッチして報せるのですが、FAXの着信音は二階にいる私を呼んでくれます。来客のチャイムは、通常は近くにいる方に報せませんが、私と妻の知り合いは覚えてい



共に生きる障がい者フェスティバル

るため、それぞれに教えてくれるようになりました。その他にも様々な生活の音を私と妻に報せてくれるお陰で、毎日安心です。八月の淡路での講演会では、私と、兵庫県のユーザー希望Sさん夫妻も参加。聴導犬の役割と体験談、デモンストラーションで皆様に聴導犬の仕事内容をより深くご理解いただけました。

十一月には、大阪の「共に生きる障がい者フェスティバル」で聴導犬講演をしました。ユーザー体験談というご依頼のため、日本聴導犬協会のスタッフが説明をしながら、聴導犬みち君がデモンストラーション、私が体験談を話しました。多くの方にご参加いただき、皆さまに聴導犬へのご理解を深めていただけて、嬉しいのです。

この度、兵庫県の新しい聴導犬ユーザーSさんが認定試験に見事合格されました。おめでとうございませう。素晴らしい成果です。心からお祝い申し上げます。私はユーザーの会・会長、認定委員の一人として、新しい仲間が増えていくことが大変嬉しいです。今後も、新しいユーザー仲間と共に、

日本聴導犬協会の発展のため、聴導犬・介助犬の普及啓発活動をしていきたいと、ユーザーの皆様にも積極的にご協力をお願いします。そして、今回のユーザー訓練では、芦屋の商工会や阪急バス、JR西日本のご協力をいただけました。ありがとうございます。今後も関西でユーザーさんが増えるよう、応援をお願いいたします。

聴導犬ファーファは
坂本家のヒーローです

聴導犬ファーファちゃんユーザー
坂本 珠美

耳が聞こえず困っていた私は、愛犬ファーファを日本聴導犬協会が聴覚障がい支援として行う「ペット聴力お手伝い犬」として希望。ファーファの適性チェックで有馬会長に「聴導犬を目指されますか?」と。「ダックスも聴導犬になれるの!」と半信半疑ながら領き、協会に譲渡後に訓練に入りました。

当時は在宅勤務。訓練の時間が

腰への負担を考えると足の甲にタッチ





誕生！ダックス聴導犬

が好きで、気づくと立派に成長していました。

ある日、家の庭で、ファーファが走ってきて私にタッチ。いきなりで何だろうと思いい、ファーファの行く先を見ると勝手口に母がいて、「呼ばれたことを教えてくれたんだ」とわかりました。高齢で足が弱っている母は私が二階にいると何かあっても呼べないと心配していました。今では階下から母が「珠ちゃん呼んできて」とファーファに言うのと、呼んでくれます。おかげさまで、ファーファは私たちのヒーローになりました。

それ以来、ファーファが反応すると、冷静に周りを確認する癖も付きました。郵便受けに配達があると、二階にいる私に教えます。犬の聴力才能に感心します。

苦勞したのは、外での排泄。協会

取れない中、協会スタッフがスケジューリングを調整してくれました。訓練は厳密でしたが、ファーファは訓練

から何度も指導を受け、外で我慢する癖を直すため、庭で時間を作り、ようやく成功。「継続は力なり」です。協会の企画や色んなイベントで聴導犬をアピールし、沢山のの方に聴導犬が知れ渡り、協会への支援にも繋がればと祈っています。認定試験合格はとても嬉しく、最初に聴導犬になれる見込みがあると判断できる有馬会長・訓練士はもつとすごいなと思います。聴導犬初心者&初心者ユーザーなので、今後とも指導をお願いします。

困難といわれる
癌サバイバーへの介助犬貸与

介助犬こうちゃんユーザー希望
大木 浩之

私は約五年間、日本聴導犬協会のソーシャライザーとして、身体障がいのある方を支えるお手伝いをしてきました。しかし、

こうちゃんと共に歩む今後の生活に大きな希望を抱きます



胃がん発症後、手足に障がいが残ったことで、思

いがけず「支える側から支えられる側」へと立場が変わりました。日常の小さな動作さえ難しくなり、自立が遠のく不安と悔しさを強く感じる日々でした。

有馬会長から、主治医の助言を受けての「障がい者手帳」交付を勧められました。手帳があれば、介助犬申請ができます。その後

も、医療関係者の審査を受け、リハビリの方々の応援も得て、候補犬こうちゃんと共に訓練を受けることができ、再び前を向く力が出ました。こうちゃんが一生懸命に私を助けようとする姿に励まされ、「できない」が「できる」に変わる未来が現実味を帯び、「自分らしく生きる新たな道」があると実感します。認定試験が見えてきた今、介助犬こうちゃんと共に歩む今後の生活に大きな希望を抱いています。

私の健康状態や状況を丁寧に理解し、「もう一度自分の力で生活したい」という私の願いを尊重してくださった日本聴導犬協会のスタッフをはじめ、ボランティアの皆様の存在が大きな支えとなりました。皆様の後押し



こうちゃんとの訓練で再び前を向けるように

がなければ、こうして介助犬こうちゃんと共に新たな道を歩み始めることはできません。心より深く感謝申し上げます。財政が厳しい状況とのことで、この尊い活動を未来に繋ぐために、どうか皆様の温かなご支援と応援を賜りましたら幸いです。

「全日本ユーザーの会」会員募集
◆この団体の設立当初の会費を毎年十月一日までに支払う。
(1)正会員(補助犬ユーザー) 年会費 三千元 入会金 三千元
(2)賛助会員(補助犬ユーザー家族) 年会費 五千元以上
(3)協賛会員(個人・企業・団体) 年会費 五千元以上
※ 当会運営のために、ご寄付をいただければ幸いです。なにとぞよろしくお願い申し上げます。
※ 会費やご寄付は、ユーザー新聞七千部印刷と発送費用の一部、会員の環境改善、ロビーイング(陳情活動)などに使われます。経理報告は、理事会の承認を得て、年一回報告されます。